

「胃癌、食道癌患者の在宅夜間経腸栄養の有無と夜間血糖値の推移の評価について
の後ろ向きおよび前向き観察研究」ご協力をお願い

近年、超高齢化社会の到来に伴い、併存疾患を有するハイリスク胃癌、食道癌症例が増加しています。特に、上部消化管術後の栄養失調による体重減少が著しく、特に高齢者や併存疾患のある患者の術後 QOL 低下を招いています。当院では胃全摘、食道癌患者に在宅夜間経腸栄養療法の工夫を行い、良好な成績が得られてきました。当院の過去、今後の症例を解析して、体重減少予防策として行っている在宅夜間経腸栄養療法の臨床的意義を明らかにすることで、胃全摘患者、食道癌患者の胃癌治療に寄与することができると考え研究を行います。

実施施設および担当医師

京都第一赤十字病院消化器外科 小松 周平(責任研究医師) ほか

研究の方法

1992 年から 2020 年 12 月に治療した胃癌、食道癌患者様を後ろ向き研究の対象とします。また 2020 年 11 月以降に治療する患者様も対象とします。抽出するデータは、以下の通りです。

- ① 関連情報: Stage、病理所見、画像所見、臨床病理学的因子、採血(栄養指標、血糖)項目などデータベースや電子カルテから情報を集めます。
- ② 患者基本情報: 性、年齢、罹病期間、身長、体重など
- ③ 持続血糖モニタリングによる血糖値の継続的測定と解析

本研究の対象患者のデータを、所定のフォーマット(パスワード付きエクセルファイル)で一括して管理し、データの解析は京都第一赤十字病院消化器外科にて行います。情報は院内にて厳重に管理され、第三者への提供は致しません。本研究の結果は学会発表・医学論文として公表する予定です。

患者様の利益・不利益(リスク)および同意取得

本研究では、通常診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究への参加に関しては、本掲示をもって文書同意に代えますが、同意いただけない場合は、研究データへの組み入れを取り消しますので、下記までご連絡ください。

事務局・患者問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地
京都第一赤十字病院 消化器外科
電話 075-561-1121(代表) Fax 075-561-6308
責任研究医師氏名 小松周平(skomatsu@koto.kpu-m.ac.jp)